

計画無痛分娩をお考え中の方へ

無痛分娩とは

無痛分娩とは陣痛の痛みを和らげる、または、痛みを取る方法です。

当院は「硬膜外麻酔」という腰から入れたカテーテルから麻酔薬を入れる方法を計画分娩で実施しています。

8～10割の痛みが取れます。

実施時期は、36週以降の妊婦健診時に医師が内診を行い、子宮口の状態により入院日を決定します。38～39週頃に入院になることが多いです。

入院後は、お産が進みやすくなるように、必要時は子宮口(頸管)を拡張し、その後、硬膜外カテーテルの処置をします。そして、陣痛促進剤(内服、または、点滴)で陣痛を誘発します。

赤ちゃんが産まれる時には、痛みを感じませんが、お腹の張りはわかるので、張りに合わせていきんで赤ちゃんを産むことができます。お産後は、疲労が少ないので体力的に楽に過ごせます。

～無痛分娩のメリット～

- ★分娩時の痛みを軽減できる
- ★心身ともに余裕をもってお産に臨める
- ★産後の疲労感が軽減される



赤ちゃんが産まれた喜びを最大限に感じられます

無痛分娩を希望される方、またご質問等につきましてはご受診時にお尋ね下さい。